

## 平成 28 年度第 1 回臨時理事会議事録

日時 平成 28 年 4 月 21 日 (木) 11:00～13:00  
会場 東京国際フォーラム Bブロック 5階

出席者：

理事長：藤井 知行

副理事長：木村 正、八重樫伸生

理事：青木 大輔、井坂 恵一、苜原 稔、牛嶋 公生、岡本 愛光、加藤 聖子、北脇 城、  
吉川 史隆、工藤 美樹、齋藤 滋、齋藤 豪、竹田 省、原田 省、藤森 敬也、  
増崎 英明、三上 幹男、峯岸 敬、村上 節、森重 健一郎、山田 秀人、山本 樹生、  
吉川 裕之

監事：岩下 光利、嘉村 敏治、小西 郁生

顧問：吉村 泰典

特任理事：海野 信也、大須賀 穰、荻田 和秀、生水 真紀夫、宮城 悦子

理事会内委員会委員長：竹下 俊行

専門委員会委員長：久具 宏司、高松 潔

第 68 回学術集会プログラム委員長：伊東 宏絵

第 69 回学術集会プログラム委員長：三好 博史

第 70 回学術集会プログラム委員長：伊藤 潔

幹事長：阪埜 浩司

副幹事長：佐藤 豊実

幹事：上田 豊、梶山 広明、川名 敬、岸 裕司、北澤 正文、佐藤 美紀子、  
澤田 守男、寺尾 泰久、寺本 瑞絵、西 洋孝、西ヶ谷 順子、西郡 秀和、長谷川 ゆり、  
松村 謙臣、矢内原 臨、矢幡 秀昭、山上 亘、吉野 修

議長：佐川 典正

副議長：田村 秀子、光田 信明

弁護士：平岩 敬一

名誉会員：宇田川 博康、野田 起一郎、鈴森 薫、望月 真人

事務局：桜田 佳久、青野 秀雄

11 時 00 分 理事、副理事長、常務理事、理事 25 名のうち、全員が出席し、定足数に達したため藤井知行理事長が開会を宣言した。藤井知行理事長が議長となり、議事録署名人として、藤井知行理事長および岩下光利監事、嘉村敏治監事、小西郁生監事の計 4 名を選出し、これを承認した。

冒頭、藤井知行理事長から、本日は熊本地震についての対応協議をする必要があるため、通常の議題については協議事項を中心に行い、報告事項については特に必要なもののみ報告いただきたい、とのコメントがあった。さらに木村正副理事長から、第 68 回学術講演会の HPV ワクチンのセッションの演者変更について説明があった。

### I. 平成 27 年度第 4 回理事会議事録承認の報告

平成 27 年度第 4 回理事会議事録が 3 月 31 日付で承認されたことが報告された。

## II. 業務担当常務理事報告

### 1) 総務 (青木大輔理事)

#### 〔I. 本会関係〕

##### (1) 会員の動向

- ①山口貞雄功労会員(愛知)が3月1日にご逝去された。(愛知地方学会から3月24日報告受領)
- ②柿木成也功労会員(鹿児島)が4月8日にご逝去された。(弔電・供花手配済み)

- (2) 平成27年度入会年度別・卒業年度別新入会員数および平成27年度末会員数について  
平成28年3月31日現在の会員数は16,373名であった。〔資料：総務1〕

##### (3)平成28年度臨時総会「第1議案 定款の改定に関する件」の修正案について

第1議案では、第8条について正会員と学生会員に分けて権利を明記したが、他条についても分けて明記する必要性について検討した結果、修正案を提出したい。〔資料：総務2〕

**青木大輔理事**「第4回理事会で承認いただいた定款改定案の修正案である。本件お認めいただければ、本日の臨時総会にこの修正案を提出し、承認を得たい。」  
本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

(4) 佐藤豊実先生の副幹事長および医療安全推進委員会主務幹事を、本日の臨時総会をもって解委嘱し、梶山広明先生に副幹事長を、長谷川ゆり先生に医療安全推進委員会主務幹事を委嘱したい。  
本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

##### (5)熊本地震の災害対策本部の設置について 〔資料：総務2-1〕

**青木大輔理事**「4月17日に災害対策本部を立ち上げた。増崎英明震災対策・復興委員長は現地対応として、また藤森敬也理事、海野信也特任理事など5名の先生方には災害対策本部メンバーとして加わっていただきたい。」  
本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

\*熊本大学片瀧秀隆先生からのメッセージ〔資料3〕

\*熊本地震における人的支援に関しての要望書〔資料4〕

**藤井知行理事**長「熊本地震について、熊本大学片瀧秀隆先生からメッセージを受け取った。これについては、臨時総会の冒頭で自分が朗読する予定である。災害対策本部としては、情報を一元化した上で、人的支援は本会が、物的支援および募金は日本産婦人科医会が担当することになっている。さらに本日、人的支援に関しての要望書が届いたので、増崎英明先生から説明いただきたい。」

**増崎英明理事**「2度目の地震により熊本市市民病院が使えなくなり、ローリスクのお産に対応している福田病院への人的支援、小児新生児リエゾンチームによる避難所の妊婦さんへの対応などが必要になっている。」

**藤井知行理事**長「福田病院への人的支援へはすぐに対応したい。学会で交通費や保険をかけるので、まず理事の先生方の大学から専門医レベルの人を推薦してほしい。」

**増崎英明理事**「具体的なアクセスや担当日数などは、福田病院や熊本大学と協議して進めてほしい。熊本市内の施設や水などは大丈夫であるが、阿蘇などの地方はまだ状況がつかめていない。」

**嘉村敏治監事**「熊本市市民病院の勤務医は、久留米大学から派遣されているが、今はどうしているのか。」

**牛嶋公生理事**「熊本市市民病院の入院患者は他の病院に搬送し、いまは外来患者を他病院で見ってもらうための作業を行っている。これが落ち着けば学会からの派遣メンバーに加わる形で動けると思う。」

**青木大輔理事**「まず福田病院に2名派遣したい。現在手が挙がっている東北大学と九州大学に当面の1週間をお願いして、その間に以降の派遣について理事の先生方の大学に人選をお願いしたい。スタートは保険契約を結び次第ということになる。」

**岩下光利監事**「東日本大震災の際のことを考えると、リレー方式での医師派遣を学会で調整していくまとめ役と現地サイドで対象施設と交渉する役が必要になる。」

**増崎英明理事**「現地の司令塔は熊本に居る人が望ましいが、疲労もあり、かなり大変である。」

**青木大輔理事**「いままでは、震災対策復興委員会委員の津田尚武先生が現地から重要な情報を送っていただき、学会側は西ヶ谷順子委員に対応していただいた。まずは現地に医師を派遣した上で体制を確立していきたい。」

**久具宏司委員長**「阿蘇地方は人口も少なく、医師を送って何ができるのかよく検討して進めるべきではないか。」

**青木大輔理事**「地方の避難所の妊婦さんへの対応は現地の方とタグを組んで進めるべきである。小児新生児リエゾンチームについてはどう関わっていけばよいか。」

**海野信也特任理事**「熊本県のDMAT本部から連絡がきた。小児新生児リエゾンチームを2~3チーム作って今週中に避難所を回りたいので、本会および日本産婦人科医会に正式な要望書を出したいということである。移動手段も自前で手配してほしいということだが、一定の判断ができる先生を送る必要がある。」

**加藤聖子理事**「早期のうちには九州の大学で対応するのがよいのではないか。また九州では妊婦さんが直接熊本県外の病院に来ており、その対応として一次診療施設の確保も大事になっている。」

**増崎英明理事**「長崎から医師を避難所に送るスキームがあるので、そこに加わってもらうことも可能である。」

**海野信也特任理事**「現在来ている要望は、小児周産期領域を対象としているので全体の枠組みのものとは別かもしれない。」

**青木大輔理事**「福田病院への医師派遣を行うとともに、避難所についても状況を把握して適宜対応していきたい。また本会の対応をホームページに掲載して会員にも状況を伝えていきたい。」

熊本への医師派遣および本会の対応について特に異議なく、全会一致で承認された。

(6) 本会は厚生労働省臨床効果データベース整備事業の実施団体に、「『女性のためのデータベース』整備事業（仮称）」として応募した。他に2団体の応募があり、4月26日に青木大輔理事が厚生労働省でプレゼンを行うことになった。

(7)e 医学会について [資料：総務3]

会員異動管理システム（第3フェーズ）が4月からスタートし、会員情報の変更や地方学会をまたぐ異動などがシステムで対応できるようになった。

(8) 専門委員会

(イ) 生殖・内分泌委員会

①今国会で可決される予定の民法改正に関連して、産婦人科医が懐胎していないことの証明を行うことが求められるようになるため、『民法第733条第2項に該当する旨の証明書』記載の手引きを作成した。[資料：総務3-1、3-2、3-3、3-4]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

(ロ) 婦人科腫瘍委員会

①「ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン（子宮頸がん予防ワクチン）接種推進に向けた関連学術団体の見解」を予防接種推進専門協議会が取りまとめた。同協議会のホームページに掲

載するが、この見解への参加団体のホームページにも掲載することを求めている。

[資料：総務 3-5]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

#### (ハ) 周産期委員会

①産科危機的出血への対応ガイドライン合同改訂委員会委員として、日本周産期・新生児医学会から関博之先生、久保隆彦先生の推薦を受けた。[資料：総務 4]

②高松高裁で行われている高松赤十字病院に対する医療訴訟の第2審に関して、被告の担当弁護士から日本産婦人科医学会を通して本会に公判への意見書を提出してほしいとの依頼があったが、本会としては対応が難しい旨を医会に回答した。[資料：総務 5]

③日本ペインクリニック学会、日本麻酔科学会、日本区域麻酔学会が「抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン」案を作成し、本会に意見を求めてきた。周産期委員会で本会からの意見書案をまとめた。[資料：総務 6-1、6-2、6-3]

④第1回メンタルヘルス合同委員会を4月2日に開催した。現在、周産期メンタルヘルス診療ガイドラインを作成中である。[資料：総務 7]

⑤「産科危機的出血への対応ガイドライン」の改訂については、日本周産期・新生児医学会、日本産婦人科医学会、日本産科婦人科学会の合同改訂委員会で改訂案を検討してきたが、改訂作業が終了し、日本輸血・細胞治療学会と日本麻酔科学会から委員を出してもらい、5学会全体の改訂委員会で最終案を検討することにした。

#### (ニ) 女性ヘルスケア委員会

①ホルモン補充療法ガイドライン 2012 頒布状況

4月11日現在、8,863冊。

②低用量経口避妊薬、低用量エストロゲン・プロゲスチン配合薬ガイドライン 2015 頒布状況

4月11日現在、4,041冊。

③あすか製薬株式会社より、同社がノルレボ錠 1.5mg を発売することに伴い「緊急避妊法の適正使用に関する指針」(2011年版)改訂の依頼を受領した。[資料：総務 7-1]

(9) 内閣府公益認定等委員会に対して、3月31日に本会公益事業区分を一本化するための変更認定申請を提出し、4月12日に先方担当者からのヒアリングを受けた。[資料：総務 8]

(10) 山口内分泌疾患研究振興財団の内藤常務理事、千葉事務局長が事務局を来訪し、本年度5年目となる本会の若手医師育成業務に対する寄附(年間500万円)は、平成28年度分をもって終了

したい、との申し入れがあった。

**齋藤滋理事**「この寄附は、サマースクール、スプリング・フォーラムなどで使わせていただいたが、今後はなくなる、ということか。」

**藤井知行理事長**「当初より5年ということではまっている。本業務の今後の展開については産婦人科未来委員会で検討いただき、また寄附については様々な方面にお願いしていきたい。」

(11)事務局で生じる現金運搬に関して、コーポレートマネーガード保険（保険料 54,000 円、支払限度 1000 万円）に加入しているが、これを1年間継続したい。

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

## 〔Ⅱ. 官庁関係〕

### (1) 厚生労働省

①厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課より、医薬品・医療機器等安全性情報報告制度についての周知依頼を受領した。本会ホームページに掲載して会員に周知したい。[資料：総務 9]  
本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

②厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課より、新生児聴覚検査の実施についての協力依頼を受領した。同検査の円滑な実施を図るため、検査体制の整備や検査機関との連携体制の確保、および地域における新生児聴覚検査に関する協議会への参加などの協力を求めている。本会ホームページに掲載して会員に周知したい。[資料：総務 10-1、10-2]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

③厚生労働省保険局保険課より、出産育児一時金等の受取代理制度の届出についての通知を受領した。本会ホームページに掲載して会員に周知したい。[資料：総務 11]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

④厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課より、ジカウィルス感染症に関する情報提供についての通知を受領した。本会ホームページに掲載して会員に周知した。[資料：総務 12]

⑤厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課より、平成 28 年熊本地震で被災した妊産婦及び乳幼児等に対する支援のポイントについての周知依頼を受領した。本会ホームページに掲載して、会員に周知した。[資料：総務 12-1]

⑥厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課より、平成 28 年熊本地震の被災者に係る妊婦健康診査等の各種母子保健サービスの取扱いについての周知依頼を受領した。本会ホームページに掲載して、会員に周知した。[資料：総務 12-2]

### (2) 福島県

福島県知事から本年3月11日付で、震災への支援に対するお礼状を受領した。[資料：総務13]

### 〔Ⅲ. 関連団体〕

#### (1) 日本医学会、日本医学会連合

①日本医学会から、平成27年度に3団体の新規加盟を決定したとの通知があった。[資料：総務14]

②日本医学会を通して医薬品医療機器総合機構から、薬事戦略に関する実施要綱の一部改正についての周知依頼を受領した。本会ホームページに掲載して会員に周知したい。[資料：総務15]

③日本医学会連合から、6月17日に開催される平成28年度定時総会の開催案内を受領した。本会からは藤井知行理事長が出席する。[資料：総務16]

④日本医学会を通して厚生労働省医政局地域医療計画課から、被災地への医師等の医療従事者の派遣についての協力依頼があった。[資料：総務16-1]

⑤日本医学会、日本医師会による、毎年恒例の「医学生、研修医等をサポートするための会」の開催を支援するスキームの案内を受領した。[資料：総務16-2]

⑥日本医学会を通して厚生労働省大臣官房参事官ならびに厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課より、金属製の眼内ドレーンを留置した患者に対する磁気共鳴画像診断装置を用いた検査についての周知依頼を受領した。本会ホームページに掲載して、会員に周知したい。  
[資料：総務16-3]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

#### (2) 日本リンパ浮腫治療学会

本年2月9日に日本リンパ浮腫治療学会を設立した旨の案内があった。 [資料：総務17]

(3) 日本病態プロテアーゼ学会より、第21回日本病態プロテアーゼ学会学術集会（2016年8月5～6日千里ライフサイエンスセンター）の後援名義使用依頼を受領した。例年の依頼であり、また経済的負担はなく、これを応諾したい。

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

#### (4) 日本性感染症学会

日本性感染症学会から、梅毒の流行に関する注意喚起についての通知を受領した。梅毒については3月に本会ホームページに掲載したが、本件についても掲載して会員に周知したい。

[資料：総務18]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

(5) 日本循環器学会

日本循環器学会から、成人先天性心疾患の横断的検討委員会の参画および代表委員の推薦依頼を受領した。[資料：総務無番]

[IV. その他]

(1) あすか製薬、富士製薬、持田製薬3社連名で、ヒト絨毛性性腺ホルモン (hCG) 製剤について、要望していた薬価が引上げとなった旨の報告があった。[資料：総務 19]

(2) 日本家族計画協会より、平成 28 年度女性医療セミナー(2016 年 6 月 5 日東京 JP タワーホール、7 月 3 日大阪コングレコンベンションセンター) の後援名義使用依頼を受領した。例年の依頼であり、また経済的負担はなく、これを応諾した。

(3) 日本母乳の会より、第 25 回母乳育児シンポジウム(2016 年 7 月 30~31 日新潟市・朱鷺メッセ) の後援名義使用依頼を受領した。例年の依頼であり、また経済的負担はなく、これを応諾したい。本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

(4) 特殊非営利活動法人東京がん化学療法研究会より、第 17 回臨床腫瘍夏期セミナー(2016 年 7 月 21~22 日東京都港区・コクヨホール) の後援名義使用依頼を受領した。例年の依頼であり、また経済的負担はなく、これを応諾したい。本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

(5) MSD 株式会社より、医療政策専門家を対象とした第 3 回シンポジウム「女性のための予防医療」(2016 年 5 月 18 日 ザプリンスパークタワー東京) の後援名義使用依頼を受領した。経済的負担はなく、これを応諾した。

(6) 公益財団法人地域創造基金さなぶりから、客観的なデータや調査・研究に基づく地域課題の解決を促進する事業(とうほく復興データプロジェクト)の一環として、「現場で役立つ復興論文」と題した公募論文の募集を行っているので会員に案内してほしいとの依頼があった。

[資料：総務 20]

2) 会 計 (吉川史隆理事) 特になし

3) 学 術 (竹田省理事)

(1) 学術委員会

(イ) 会議開催

第 68 回学術講演会 International Session Award 選考委員会を 4 月 22 日に開催する予定である。

(2) プログラム委員会関連

(イ) 第 68 回学術講演会プログラム委員会

(ロ) 第 69 回学術講演会プログラム委員会

シンポジウム座長については、前回の理事会で以下の先生方が承認され、委嘱した。

シンポジウム 1 (周産期) : 金山 尚裕先生 (浜松医科大学)

シンポジウム 2 (生殖) : 村上 節先生 (滋賀医科大学)

金山尚裕先生より、シンポジウム 1 の co-chairman として下屋浩一郎先生 (川崎医科大学) が、村上節先生より、シンポジウム 2 の co-chairman として藤原浩先生 (金沢大学) が推薦された。

(ハ) 第 70 回学術講演会プログラム委員会

4) 編集 (加藤聖子理事)

(1) 会議開催

5月28日	平成28年度第1回和文誌編集会議/第1回 JOGR 編集会議
6月3日	平成28年度第1回編集担当理事会

(2) 英文機関誌 (JOGR) 投稿状況

2016年投稿分 (4月6日現在)

Accept	6編
Reject	149編
Withdrawn/Unsubmitted	64編
Under revision	21編
Under review (審査中)	199編
Expired	0編
投稿数	439編

(3) 査読スコアシートへの査読証明書用質問項目の追加設定について [資料 : 編集 1]

5) 渉外 (木村正副理事長)

[会議開催]

- (1) 第 68 回日産婦学術講演会会期中に AOFOG、ACOG、KSOG および TAOG、シンガポール、カンボジア、ミャンマーそれぞれと、本会役員とのミーティングを行う予定である。KSOG および TAOG とは、従来の日韓ジョイントカンファレンスを日韓台ジョイントカンファレンスに発展させ、毎年開催の方向で協議の予定である。

[FIGO 関連]

- (1) 新たに設置される Committee on Minimal Access Surgery のメンバーとして日本産婦人科内視鏡学会と協議したうえで本会から東京大学 平池修講師、日本医科大学 市川雅男講師を FIGO へ推薦し

た。

(2) 5月12～13日、米国ワシントンDCにて開催のFIGO理事会に、本会から木村正副理事長が出席の予定である。

#### [AFOG 関連]

(1) 6月25日にモンゴル ウランバートルにて開催のAFOG Council Meetingに、本会より木村正副理事長の代理として岡本愛光理事が出席の予定である。また、AFOG役員として落合和徳 AFOG Vice President、加藤聖子 Editor-in-chief、万代昌紀 Committee Chair を本会から派遣の予定である。

(2) FIGO理事会にはAFOG PresidentがObserverとして出席することが認められており、5月12～13日に米国ワシントンDCにて開催の次回FIGO理事会に、AFOG President代理として落合和徳 Vice Presidentが出席を予定している。AFOGからの資金援助が得られないため、本会として規定による出張経費を支給したい。[資料：渉外1]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

#### [ACOG 関連]

(1) 第68回日産婦学会学術講演会におけるExchange Programに派遣予定だったACOG若手医師の一人が出産のため派遣不可となり、次点となっていた医師が急遽派遣されることとなった。

#### [KSOG 関連]

(1) 9月23～24日に韓国ソウルにて開催のThe 102nd Annual Congress of KSOGへ本会よりExchange program delegationとして藤井知行理事長、木村正副理事長、工藤美樹第69回学術集会長、長谷川ゆり幹事、および若手医師5名を派遣の予定である。

#### [カンボジア関連]

(1) 国際協力機構(JICA)/草の根技術協力事業(草の根パートナー型)「工場労働者のための子宮頸がんを入口とした女性のヘルスケア向上プロジェクト」業務のため、木村正副理事長、矢内原臨幹事、矢野哲医師、松本安代医師、黒田高史医師を6月にプノンペンへ派遣の予定である。6月23日、Cambodia-Japan Cooperation Centerにて開催のSCGOセミナーにて、木村正副理事長と矢野哲医師が講演の予定である。

#### [その他]

(1) ドイツStuttgartにて開催の第61回ドイツ産婦人科学会学術講演会(10月19-22日)において、10月19日に日独シンポジウムを行う予定である。[資料：渉外2]

(2) シンガポール産婦人科学会と本会による Exchange Program について Agreement に署名したい。

[資料：渉外3]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

(3) ガンビアおよびガーナより、第 68 回学術講演会への参加者派遣のためのビザ申請書類送付を求める非営利団体を名乗るメールがフリーメールアドレスから送信された。大会事務局が団体本部に確認したところ、ガンビアは偽の依頼であることが判明した。ガーナについては確認が取れていない。

## 6) 社 保 (北脇城理事)

### (1) 会議開催

①3月25日に平成27年度第4回社保委員会を開催した。

②3月25日にメジカルビュー社を交え「産婦人科医のための社会保険 ABC」改訂会議を開催した。

(2) 日本医師会より、疑義解釈委員会次期委員の推薦準備依頼を受領した。本会からは社保委員会 落合和徳オブザーバーを継続して推薦したい。

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

(3) 血中ヒト精巣上体タンパク 4 (HE4) 測定試薬の保険適用に関する要望書を日本婦人科腫瘍学会との連名で提出したい。[資料：社保1]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

## 7) 専門医制度 (吉川裕之理事)

### (1) 会議開催

①日本専門医機構第2回社員総会が3月14日(月)に開催され、藤井知行理事長が出席した。

### (2) 地方委員会宛通知

平成28年度審査等に関わる各種様式・研修出席証明シール、平成28年度専門医認定審査等についての案内を平成28年度事業計画を添えて地方委員会宛に3月14日に送付した。

### (3) 日本専門医機構

①2015年度に開催された研修会および講習会を各地方委員会から報告してもらい、本会としての参加単位・講習単位を決定し、日本専門医機構へ報告し、一部修正の上承認された。

②専門研修プログラムの産婦人科領域研修委員会での一次審査が終了し、122施設群のプログラムを日本専門医機構へ提出した。

吉川裕之理事「産婦人科領域については都市部の募集人数を抑制するようにしており、地域医療を悪化させないという点ではいろいろな手を打っている。」

③専門医の認定証について [資料：専門医 1]

**吉川裕之理事**「日本専門医機構の認定証は4月15日付で送付された。ただ専門医の広告はまだ認められていない。」

④機構専門医認定の延期の動きに関しての本会要望書について [資料：専門医 2]

**藤井知行理事長**「機構の社員総会でも延期すべきとの意見が多く出た。本会は機構の指示に従って制度を作る側なので『延期すべきではない』という意見を言う立場ではないが、機構に対して『延ばさないでほしい』との要望を出すことは妥当であろう、ということで要望書案を作成した。まずこれを出すべきかについて、ご意見をいただきたい。」

**原田省理事**「専門医制度が医師の偏在に対して改善方向に作用すればよいと思っていたが、最近ではその解消には貢献しないなどの問題点が指摘されている。この点について本会は努力しているが、完全にクリアしている訳ではないので、急いで制度をスタートさせるべきであると言わなくてもよいのではないか。」

**吉川裕之理事**「専門医制度を通して医師の偏在を改善させようということには無理がある。状況悪化させないためにあらゆる手を打つというのが限界ではないか。本会は地方委員会との対話を経て進めており、また症例数をこなすには地方に医師を出さない限り達成できないなど、新臨床研修制度の導入時のような問題は起こらないと考えている。」

**海野信也特任理事**「一番問題なのは各診療科の定員枠である。この枠を制限する仕組みを作ることができるかどうか、それが社会保障審議会で認められるかどうかポイントである。」

**藤井知行理事長**「本会としては産婦人科医を増やしたいとしているなかで、今の総数で縛られると増やせなくなるという問題もある。」

**海野信也特任理事**「この要望書を、本制度を進めたいとの立場の機構に出す意味はどこにあるのか。」

**小西郁生監事**「機構としては、専門医制度の開始準備はできておりこのまま進めたいが、各学会から反対の意見ばかりでなく、複数の進めたいとの声が上がってきてほしいと考えている。」

**吉川裕之理事**「機構からは社会に対して声明を出すことが期待されているのだろうが、それには違和感がある。しかしこの要望書は、誰も予定通りやろうと言っていないのに機構だけが進めようとしているとの批判に対しては意味があると思う。」

**村上節理事**「要望書の提出には違和感があるが、出すとすれば、『準備をしている専攻医の混乱を避ける』という立ち位置を示すようにしてほしい。」

**原田省理事**「本会のプログラムが地域偏在を改善させるものになっていない以上、要望書は出すべきではない。定員枠については本会から提案すべきではないか。」

**吉川裕之理事**「地域偏在を改善させるために本会から各施設に強制することは難しい。」

**原田省理事**「本会が地域偏在を改善させるという視点を持ってプログラムを作っていることが、地方から見えるようにしてほしい。」

**吉川裕之理事**「新専門医制度の目的は優れた専門医を作ることであり、それを地域偏在を起こさせないように工夫して進めている。米国のように診療科毎に専門医数を決めて制限するような手段を取れない以上、限界はある。」

**佐川典正議長**「プログラムでの産婦人科全体の定員数は多く、新臨床研修制度の導入時に起こったような偏在が起きる可能性はある。もし偏在が起こった際にそれを修正するような機能がないと地方は困るということではないか。」

**木村正副理事長**「専門医制度についての地域偏在対応は全科でやらないといけない。要望書を出す場合には、専攻医の立場を考えて急な変更をすべきではない、導入の結果地域偏在が起るようであればその対応策を全科で考えてほしい、という要望を入れて出してはどうか。」

**山田秀人理事**「混乱を招かない、地域偏在を起こさない、との要望を加えて表現をもう少しあっさりしたものにしてはどうか。」

**小西郁生監事**「機構からは、良い専門医を作ることと地域格差の問題は切り分けて議論してほしいと言っていくつもりである。地域格差や診療科の格差は国全体で取り組むべきテーマである。」

吉村泰典顧問「2030年から医師が過剰になる中で、地域格差や診療科の格差はなくなる。この2つは別々の問題だが、一つの対応策として専門医制度改革が使えるかもしれない。医師のあるべき姿の理念には賛同するなかで、2つの格差については国や機構と協力して考えていくということではないか。」

木村正副理事長「格差の問題は、全科が関与した上で究極的には診療報酬がからむようなテーマである。機構の社員総会で本会だけがこの要望書を出すことには無理があるのではないか。」

藤井知行理事長「要望書の表現はマイルドにして、導入後の状況によっては制度を見直すことを考えてほしいこと、全科での取り組みとすることを入れて、十分に揉んだ上で提出することにしたい。」

## 8) 倫理委員会 (苛原稔委員長)

(1) 本会の見解に基づく諸登録 (平成28年3月31日)

- ① ヒト精子・卵子・受精卵を取り扱う研究に関する登録：68 研究
- ② 体外受精・胚移植の臨床実施に関する登録：603 施設
- ③ ヒト胚および卵子の凍結保存と移植に関する登録：603 施設
- ④ 顕微授精に関する登録：554 施設
- ⑤ 医学的適応による未受精卵および卵巣組織の採取・凍結・保存に関する登録：53 施設
- ⑥ 提供精子を用いた人工授精に関する登録：15 施設

(2) 着床前診断に関する臨床研究申請・認可について [資料：倫理1]

4月8日現在申請557例 [承認456例、非承認9例、審査対象外27例、取り下げ5例、照会23例、保留5例、審査中32例] (承認456例のうち17例は条件付)

(3) 大谷徹郎医師への譴責処分に対する代理人弁護士からの回答について [資料：倫理2]

苛原稔委員長「回答への対応については、倫理委員会で検討し、次回の理事会に諮りたい。」

(4) ゲノム編集の声明について [資料：倫理3、4]

苛原稔委員長「生殖細胞のゲノム編集については、内閣府生命倫理調査会で基礎研究は可だが臨床応用は不可との結論が出るとのことである。日本遺伝子治療学会、日本人類遺伝学会、日本生殖医学会と本会が一般向けに調査会報告に沿った提言を出す予定である。併せて日本生殖医学会と本会は医療従事者に対する留意事項を出したい。」

(5) 母体血を用いた出生前遺伝学的検査に関する臨床研究施設認可状況—4月7日現在計66施設

平成28年3月24日付 国際医療福祉大学病院

4月7日付 名古屋通信病院

(6) 会議開催

- ① 3月15日に「平成27年度第5回着床前診断に関する審査小委員会」を開催した。
- ② 3月29日に「平成27年度第5回倫理委員会」を開催した。
- ③ 4月25日に「平成28年度第1回着床前診断に関する審査小委員会」を開催する予定である。
- ④ 5月10日に「平成28年度第1回倫理委員会」を開催する予定である。

## 9) 教育 (八重樫伸生副理事長)

(1) 会議開催

4月22日	海外派遣選考委員会
6月3日	平成28年度第1回教育委員会

(2) 書籍頒布状況

電子版：4月11日現在

必修知識 2013 単体	338
用語集単体	171
必修知識 2013+用語集	206

書籍版：4月11日現在

	頒布数 (冊)
産婦人科研修の必修知識 2013	3,154
用語集・用語解説集改訂第3版	3,060
若手のための産婦人科プラクティス	3,021
専門医筆記試験に向けた例題と解説集 2014	1,217
専門医筆記試験に向けた例題と解説集 2015	1,092

(3) 産婦人科研修の必修知識ならびに専門医筆記試験に向けた例題と解説集の発刊

「産婦人科研修の必修知識 2016-2018」「専門医筆記試験に向けた例題と解説集 -産婦人科研修の必修知識 2016-2018 補遺」を4月22日から販売を開始する。第68回日本産科婦人科学会学術講演会会場でも販売する予定である。

□産婦人科研修の必修知識 2016-2018

冊子のみ ￥10,000.-

電子版付き ￥12,000.-

※電子版単体販売はしない

□専門医筆記試験に向けた例題と解説集 -産婦人科研修の必修知識 2016-2018 補遺

冊子のみ ￥4,000.-

□セット販売

必修知識 (冊子のみ) +例題と解説集セット ￥13,000.-

必修知識 (電子版付き) +例題と解説集セット ￥15,000.-

※なお、今後の発刊予定については

2017年 専門医筆記試験に向けた例題と解説集単体発刊

2018年 専門医筆記試験に向けた例題と解説集単体発刊

2019年 産婦人科研修の必修知識 2019-2021/専門医筆記試験に向けた例題と解説集 (2017年版+2018年版+2019年版を合冊)

を予定し、委員会を新たに立ち上げる予定である。

※今回、全国の大学ならびに学会幹事にご協力をいただいたので、書籍版を1冊ずつ贈呈したい。

(4) 産科婦人科用語集・用語解説集コンセンサスマーティングについて

5月22日 第73回九州連合産科婦人科学会/第67回九州ブロック産婦人科医会  
ならびに

6月19日 第131回関東連合産科婦人科学会総会  
においてコンセンサスマーティングを開催する予定である。

(5) 2017年海外派遣者選考について

4月22日の International Session を2次選考とし委員に審査いただき、その後集合委員会を開催し審議いただく予定である

10) 地方連絡委員会 (八重樫伸生委員長)

地方連絡委員会を4月23日(土)12:00~13:00に、東京国際フォーラムガラス棟7階G701で開催する予定である。

### Ⅲ. 理事会内委員会報告並びに関連協議事項

#### 1) 広報委員会 (齋藤滋委員長)

(1) 会議開催 なし

(2) JOB-NET 公募情報について

①JOB-NET 事業報告 [資料: 広報1]

(3) ホームページについて

①ホームページアクセス状況について[資料: 広報2]

(4) ACOG Website 会員専用ページログイン人数について [資料: 広報3]

#### 2) Human+・Baby+プロジェクトチーム (青木大輔チームリーダー)

(1) 4月21日にHuman+・Baby+プロジェクトチーム第1回会議を開催した。

[Human+・Baby+PT 1、2-1、2-2、2-3、2-4、2-5、2-6]

青木大輔チームリーダー「Baby+改訂第2版は、配布先とコミュニケーションを取りながら、本日の臨時総会後に本格的に配布することにした。WebでBaby+を展開していき、そこにQ&Aを入れることについてもご了解いただきたい。なおBaby+については比較的よい評価が上がっている。」  
本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 3) 震災対策・復興委員会 (増崎英明委員長)

(1) 福島への医師派遣について [資料: 震災対策1]

(2) 熊本地震発生時の対応について [資料: 震災対策1-1]

(3) 震災時のwebサイト運営について

大規模災害対策サイトシステム構築を利用しやすくするための改修のため、追加開発(1,139,967円)を行いたい。[資料: 震災対策2]

本件について特に異議なく、全会一致で承認された。

#### 4) 診療ガイドライン運営委員会 (峯岸敬学会側調整役)

(1) 産科編委員会 (板倉敦夫委員長)

①会議開催 なし

第4回(通算第7回)作成委員会を2月3日に開催した。

②「産婦人科診療ガイドライン-産科編2014」頒布状況について(4月11日現在)

書籍版：12,085 冊  
書籍版+ID/PW 付き：4,559 冊  
電子版ダウンロード：2,083 件

(2) 産科編評価委員会（増崎英明委員長）

①会議開催

第1回評価委員会を3月12日に開催した。次回委員会は6月3日に開催する予定である。

(3) 婦人科外来編委員会（小林浩委員長）

①「産婦人科診療ガイドライン-婦人科外来編2014」頒布状況について（4月11日現在）

書籍版：6,746 冊  
書籍版+ID/PW 付き：3,628 冊  
電子版ダウンロード：1,676 件

(4) 婦人科外来編評価委員会（青木大輔委員長）

①会議開催 なし

5) コンプライアンス委員会（工藤美樹委員長） 特になし

6) 医療改革委員会（海野信也委員長） 特になし

7) 男女共同参画・ワークライフバランス改善委員会（岡本愛光委員長）

(1) 会議開催 なし

(2) 第68回学術講演会最終日の4月24日（日）午前9:50～11:50に、委員会企画として「イクボス」をテーマに講演会・ワークショップを開催する。

8) 産婦人科未来委員会（生水真紀夫委員長）

(1) 会議開催

4月23日	第10回サマースクール若手医師打合せ会
4月23日	平成28年度第1回若手委員会
6月3日	平成28年度第1回産婦人科未来委員会

(2) 第10回産婦人科サマースクール（SS）について [資料：産婦人科未来1]

第10回産婦人科SSは8月6日（土）～7日（日）、長野県・美ヶ原温泉「ホテル翔峰」で開催する。今回は企画から実際の指導に至るまで若手医師を中心に行う予定である。

募集人数は初期研修医1年目100名、医学部学生5・6年100名、募集開始は5月15日を予定している。

(3) 第6回産婦人科スプリング・フォーラム（SF）について

6月の第1回理事会では今回のSF参加グループのうち、優秀と認められたグループの代表者にプレゼンを行っていただく予定にしている。

(4) 若手委員会に関して

若手委員会の主な活動（SS・SF・WATOG）ならびに若手委員会紹介ポスターを作成し、第68回日本産科婦人科学会学術講演会会場において掲示する。

(5) 専門医向けアンケート

専門医向けのアンケートについて、概ね前回理事会で承認をいただいたので配付を予定している。問題点としてご指摘いただいた「記名の有無」「配付時期」の問題については若手委員会内で検討を行っており、また、アンケート内容についても他委員会のアンケート内容と重複しないよう調整をとっていきよう考えている。

## 9) 女性活躍のための健康推進委員会（大須賀穰委員長）

(1) 会議開催 なし

(2) 平成27年度、24都府県の各地方学会により開催された市民公開講座に合計2,548名が参加した。  
[資料：女性活躍1]

(3) 女性の健康週間イベントに関する業務委託について  
現在の業務委託を解消することについて特に異議なく、全会一致で承認された。

## 10) 臨床研究管理・審査委員会（竹下俊行委員長）

(1) 小川浩平先生より申請のあった研究課題「日本産科婦人科学会周産期データベースを用いた母体体格に関する疫学研究」について、3月17日に臨床研究審査報告書（承認）を提出した。

[資料：臨床審査1]

(2) 大須賀穰先生より申請のあった研究課題「難治性稀少部位子宮内膜症の集学的治療のための分類・診断・治療ガイドライン作成に向けたアンケート調査」について、3月8日に臨床研究審査報告書（承認）を提出した。[資料：臨床審査2]

(3) 竹田省先生より申請のあった研究課題「Accuracy of clinical characteristics, biochemical and ultrasound markers in the prediction of pre-eclampsia; an Individual Participant Data (IPD) Meta-analysis」について、4月11日に臨床研究審査報告書（承認）を提出した。

[資料：臨床審査3]

(4) 片渕秀隆先生より申請のあった研究課題「日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究」について、4月11日に臨床研究審査報告書（承認）を提出した。[資料：臨床審査4]

## 11) 医療安全推進委員会（増崎英明委員長）

(1) 日本医療機能評価機構から、第6回産科医療補償制度 再発防止に関する報告書に記載されてい

る「学会・職能団体に対する要望」について、取り組みの依頼があった。[資料：医療安全1]

(2) 医療事故調査制度の現況報告（3月）について [資料：医療安全2]

(3) 日本医療安全調査機構より、5月26日開催の定時社員総会の開催通知を受領した。本会から藤井知行理事長が出席する。

12) 公益事業推進委員会（八重樫伸生委員長） 特になし

13) 児童虐待防止のための女性支援委員会（荻田和秀委員長）

(1) 3月25日に厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課長が来局し、荻田和秀委員長が児童福祉法の改正についての説明を受けた。[資料：児童虐待防止1、2]

14) 婦人科領域のロボット支援下腹腔鏡手術に関する委員会（井坂恵一委員長）

(1) 会議開催

3月11日に第2回婦人科領域のロボット支援下腹腔鏡手術に関する委員会を開催した。

IV. 平成28年度臨時総会運営について

(1) 代議員からの質問・要望事項 [資料：総会1]

V. その他

(1) 平成28年度議事録作成幹事予定表について [資料：その他1]

最後に井坂恵一第68回学術集会長から挨拶があった。

加えて藤井知行理事長から、第68回学術講演会のソーシャルプログラムは予定通り行うが、内容は少し変更する旨の報告があった。

以上